

やまゆり

学校だより

令和5年3月8日
90号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行する一
校内研究主題 「WEBQUを活用し学級の安定と活性化を図る」

学校教育重点目標 「豊かな心の育成」

思いが伝わる成功の余韻に浸れた三贈会

3月7日(火)の5校時に体育館で、「3年生に贈る会」を実施しました。「3年生の予想以上の発表をし、安心して卒業して欲しい」という1・2年生の気持ちをしっかり伝えることができました。

そして、1・2年生は会の終了後に「達成感や満足感がこみ上げる余韻に参加者全員が浸る」ことができました。生徒会長の加藤景己さんをはじめとする生徒会執行部の役員を中心に、新しい文化に挑戦してきてくれた3年生の功績に対してしっかり応える会を開催することが出来ました。

また、3年生の参観の態度も素晴らしく、合唱や太鼓演奏を見つめる背中から、「感謝や謙虚さ、感動や、寂しさも入り交じった気持ち」を感じ、新たに成長した3年生の姿を見ました。

3年生の活躍を讃えるために、下級生が本気で努力し、さらに新たな道志中学校の文化を創り上げる三贈会にすることができました。

参観して下さった保護者の皆様にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

成功の満足感に浸る下級生の様子

感謝の言葉を全員で考え伝えてくれた3年生



生徒会役員1年生の振り返りを紹介

1 出来るようになったことは何ですか。

○取り組みに対して全力で活動した。(感謝を伝えるために挑戦した。雰囲気も良かった)

2 取り組みの中での充実感や達成感を実感できましたか。

○意見を出したり質問する度に、みんながしっかり反応してくれた。
○全力で挑戦してるときに、認めてしっかり評価してくれたこと。

3 嫌なことはなかったですか。

○先輩たちが良い雰囲気を創ってくれたことで、嫌なことはなかった。
○マイナス発言や嫌なことを言わないように働きかけをした。

4 連帯感・一体感を創るためにあなたが意識したことは何ですか。

○普段余り話さない人にも話しかけた。

5 自分の壁を越えたり、お互いに高め合ったりするためにどんな行動をしましたか。

○今までより、全力で取り組んだ。今まで、出来なかったことをしようと心掛けた。
○高め合うために、いろいろな意見を出し合って話し合いをした。

6 仲間を認める発言が出来ましたか。

○合唱が苦手な人に、声の出し方を一緒に考えたりアドバイスした。

7 今後修正したいことは何ですか。

○今までよりは出来ているが多かった。しかし、リーダーとしてはまだ足りない点や努力すべき点があるので高めていきたい。

自己採点すると何点か 85点

○今までの自分の活動は70点ぐらいだった。出来るのがかなり増えたと思えたので、プラス15点にした。100点にするために今後も努力したい。

6日、リハーサルを参観した早稲田大 高橋先生 今朝も朝会後に主体的に打合せをする教職員



生徒会顧問の笠田先生・各学年職員をはじめ、全教職員で役割分担をして指導しました。

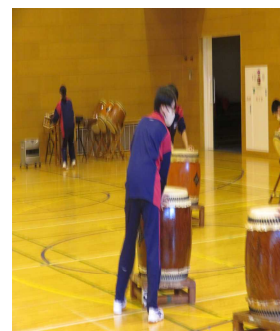
13:15分 多目的室で合唱練習をする生徒



体育館で市川先生・星野先生・功刀先生が準備



13:24分 体育館に入場千莉さん 1年生も入場 準備しよう！紫龍さん → 三代さんが応える



13:29分 自ら集まり相談する生徒



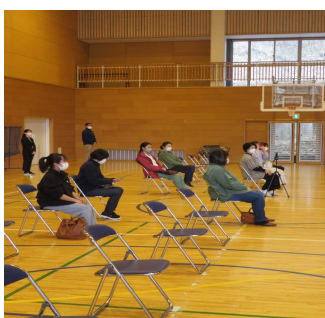
小太鼓は練習を始めた



13:32分には席で待機



13:34分 保護者来場



佳太さん はじめの言葉



生徒会長の言葉 景己さん



3年生入場

後ろ姿から、3年生の感謝の気持ちや謙虚さ、寂しさも伝わりました



13:40分 合唱 「超えていけ」

光史さん パートの音程。そしてハーモニーの美しさ。全員声を出し、気持ちが伝わる合唱でした



合唱指導の高村先生

合唱中も陰で努力

一生懸命とはこういう姿。中学生の素晴らしさ。



13:47分 輝さん太鼓説明

創意工夫を重ねた8分間の太鼓の演奏



光史さん 僕たちの頃にはなかった演奏を新しく創り出した努力を見て、安心して卒業できる。



①自分で満足する努力②他者を認め評価する③嫌なことがない④連帯する＝「達成感・感動！」

